

5年 単元名「海で遊ぼう・いかだ&カヌー」(5時間)

1 単元設定の理由

種差少年自然の家を利用した宿泊学習において、5学年は、大型タイヤチューブを使った「いかだづくり」、それを浮かべて遊ぶ「いかだ遊び」を毎年行っている。チューブ連結や木組みを紐を使って行う作業は、児童にとって大変である。手の巧緻性のない児童は、傍観するだけになることが多い。時には、うまくいかず、言い合いになることもある。単なる海に親しむ活動ではなく、協力性・忍耐力・寛容さ、思いやりの心が問われる活動である。しかし、完成し、いかだ遊びをすることにより、それらが一掃され、海と遊ぶ、海の素晴らしさ、海風・波の心地よさを体感できる素晴らしい活動である。そのためこの単元を設定した。

2 単元目標

- ① 班のメンバー(5人程度)で協力して、タイヤチューブを紐で結ぶことができる。
- ② 紐の巻き方を工夫して、木枠を組み、連結したタイヤチューブを散る付け、いかだを完成させることができる。
- ③ いかだを海に浮かべ、オールを使って、協力しながらいかだ遊びできる。
- ④ カヌー体験を通して、海から陸をながめ、違った目線を感じることができる。

3 単元の評価基準

ア：紐の巻き方、紐の先の処理の仕方が理解できたか。

イ：メンバーで仕事を分担し、励まし合いながら作業できたか。

ウ：貝類は砂に沈んでくるプランクトンなどを餌にしていることが理解できたか。

エ：植物プランクトン、リン・鉄分などの栄養循環の仕組みが理解できたか。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	○タイヤチューブを5個を紐で連結させよう。 ○紐で木の外枠を作ろう。	・タイヤチューブ、木枠、板、紐等のセットは、種差少年自然の家から借用する。 ・専門指導員、監視用船舶も手配する。
1	○タイヤと外枠を連結させよう。 ○人が座る板を紐で取付けよう。 ○オールのごぎ方を練習しよう。	・紐を二重にして、互い違いに巻いていく巻き方をしっかり理解させる。 ・組み立て段階ごとに前後に揺さぶり、結合の強度を確認し安全確認する。
2	○組み立てたいかだで海にごぎ出そう。 <ul style="list-style-type: none"> ・種差漁港内の赤い旗を回ってくる ・直進、右へ、左へと方向を変える時のオールのごぎ方を知る。 ・お互いに声をかけ合う。 ○先生とカヌーを乗ろう。	・ライフジャケット着用の仕方をチェックする。(抜けやすくないか等) ・カヌーのパドルの遣い方を教える。(八の字) ・海から陸を観察させる。
1	○振り返りの学習	
外部連携 / 教材等 種差少年自然の家(いかだセット)、種差漁業生産部会(監視用船舶)		